

令和6年度いしかわプラスチックリサイクル促進モデル事業 実施結果の紹介



石川樹脂工業株式会社・株式会社雪花

飲食店向け樹脂製食器リサイクル推進事業

事業概要・目的

石川樹脂工業（株）が飲食店向けに提供している樹脂製食器の資源循環を実現し、廃プラスチックの再利用を通じて環境負荷の低減を図ることを目的とする。

製品納品後、使用に伴い劣化した食器を廃棄させるのではなく、回収し、再製品化するシステムを構築・拡大することで、持続可能なリサイクルモデルを確立する。

これにより、製品が環境に与える影響を最小限に抑え、業界全体のリサイクル意識の向上と実践を促進することを目指す。

事業の効果

回収したプラスチックや杉間伐材の端材等を再利用することで資源の有効活用が可能となり、またプラスチック廃棄物の削減により環境への負荷が軽減され、持続可能な社会の構築に貢献する。

このような先導的な取り組みが他の企業や団体の模範となり、リサイクル活動の普及と推進が期待される。

事業結果

- ▶ 試作品として、本体主原料にリペレット材100%を使用した。
- ▶ また、様々な条件で試作する中で、杉間伐材の端材やガラス繊維を再生ペレットと組み合わせることで、品質を保ちつつ、デザイン性や使用感を向上させることに成功した。
- ▶ 今後は、様々な配合比率での試作と物性評価を実施し、製品開発に向けて挑戦を続ける。



今後は、完成した動画を活用したマーケティング施策の展開、複合材料を使用した新商品の開発、回収システムの拡充により、石川県におけるプラスチックリサイクルの先進モデル確立を目指す。

モデル図

